

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

平成 27 年度病害虫発生予察注意報第 3 号を公表したので送付します。

平成 27 年度病害虫発生予察注意報第 3 号

- 1 作物名 にながうり
- 2 病害虫名 斑点病
- 3 発生地域 沖縄本島、宮古島、石垣島

4 注意報発令の根拠

- (1) 本島中南部における 1 月下旬の調査の結果、発病葉率は 38.2% (前年 5.6%、平年 5.2%) と平年より高く、発生ほ場率は 100%であった。(図 1)。
- (2) 宮古島における 1 月下旬の調査の結果、発病葉率は 3.0% (前年 0.2%、平年 1.3%) と平年よりやや高く、発生ほ場率は 80%であった。(図 2)。
- (3) 石垣島における 1 月下旬の調査の結果、発病葉率は 1.2%、発生ほ場率は 40%であった。
- (4) 気象予報によると向こう1か月は多雨傾向にあり、本病を助長すると考えられる。

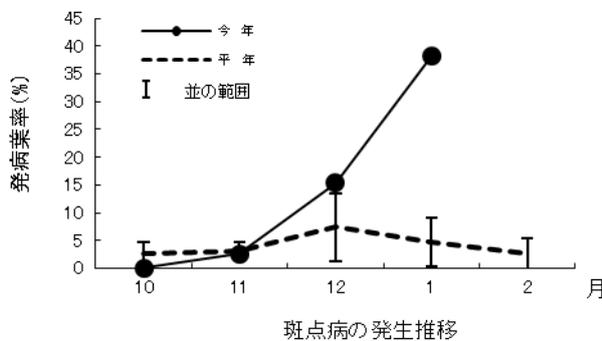


図 1 沖縄本島における斑点病の発生推移

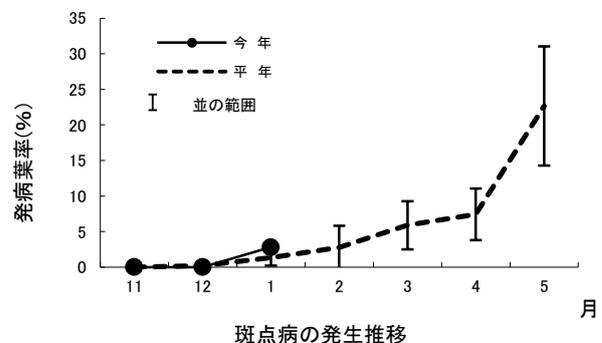


図 2 宮古島における斑点病の発生推移

5 発生生態および被害

- (1) 初め淡黄色の病斑を生じ、これが次第に拡大して 3~6mm 程度の大きさになる (図 3)。周囲にリング状の黄色い病斑を形成し、中央部は灰色に変わり、黒色の粒が生じる (図 4)。
- (2) 果実では、表面に黒いすす状の病徴を呈する (図 5)。
- (3) 病原菌は雨水や風で伝搬し、長雨が続くと多発しやすい。特に施設栽培では多湿時に発生しやすくなる。
- (4) 肥料不足で発病が助長される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 老葉や病葉は発生源になるので除去し、ほ場外に持ち出し処分する。
- (2) ほ場の排水を良くし、多湿にならないように施設内の換気に注意する。
- (3) 過繁茂をさけ、透光・通風をよくする (図 6)。
- (4) 中~下位葉をよく観察し、初期発見・初期防除に努める。



図3 被害葉



図4 黄色のリングをともなった病斑



図5 黒いすす状の病斑



図6 透光・通風の良いほ場

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : 098-886-3880

ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojjo/index.html>